



ワークショップでキンメダイの干物作りを見学する大学生ら＝1日午前、下田市の小木曾商店

下田の食、魅力発見

トルコの学生と
静岡文化芸術大生 きょうまで視察

静岡文化芸術大(浜松市)とトルコのイズミル経済大の学生が21日まで、下田市でワー

程で同市内を視察した後、「富士山静岡空港を利用した静岡の食のプロモーション」をテーマに6日、静岡文化芸術大で提案発表会を開く。

両大学は国際交流事業として、2014年から合同のワークショップを日本とトルコで交互に開いている。日本での開催はこれまで県中西部が主会場だったが、今回は豊かな自然と食文化に恵ま

れ、開国の史跡が数多く残る下田市を研修場所に選んだ。

1日は伊豆漁協の直営食堂と干物販売の小木曾商店、かつお節製造の山田鯉節店を見学し、和菓子作りと芸者文化を体験した。小木曾商店では下田市が水揚げ量日本一を誇るキンメダイを使って干物の作り方を学び、試食したトルコの学生は「とてもおいしい」と喜んでいった。